

1. 脳卒中リハビリテーションの進め方

1-1. 脳卒中リハビリテーションの流れ

推奨

発症直後から、急性期、回復期、維持期に渡って、一貫した流れでリハビリテーションを行うことが勧められるが、時期の区分についての科学的な根拠はない(グレードC1)。

●エビデンス

一般に脳卒中リハビリテーションの流れは、急性期、回復期、維持期に分けられる¹⁻³⁾(IV)。急性期リハビリテーションは、発症直後からベッドサイドで開始され、廃用症候群の予防と早期からの運動学習によるセルフケアの早期自立を最大の目標とする。回復期リハビリテーションは、リハビリテーションチームによる集中的かつ包括的なリハビリテーションである。急性期リハビリテーションに引き続いて、さらに積極的なリハビリテーションを行うことにより、その効果が期待できる患者に対して、セルフケア、移動、コミュニケーションなど、能力の最大限の回復および早期の社会復帰を目指す。維持期リハビリテーションは、回復期リハビリテーションにより獲得した能力をできるだけ長期に維持するために実施される。

海外では、急性期治療に早期から退院支援を加えると(early supported discharge)、在院日数の短縮に加えて、ADLやQOLの向上が認められ^{4, 5)}(Ia)、さらに長期的効果もあることが報告されている⁶⁻⁸⁾(Ib)。

(附記)

急性期の重症度が軽症から中等症であれば、急性期リハビリテーションからすみやかに回復期リハビリテーションへ移行する。重症であれば、急性期リハビリテーションを行いながら、病状が落ち着いた段階で回復期リハビリテーションへ移行する。

急性期治療に早期から退院支援を加えることは、入院期間の短縮など医療費の削減につながるが、後方連携がしっかりと整備されていなければ十分な効果は望めない。わが国と異なる社会保障制度を有する国々で検討された結果を、取り入れることについては注意が必要である。

維持期の用語に関しては、脳卒中慢性期のリハビリテーションの流れの中で、障害像の評価と適切なリハビリテーションアプローチのうえで誤解を招く表現との意見もある。

引用文献

- 1) 出江紳一, 石田暉. 急性期のリハビリテーション 離床までの評価と訓練. 日本医師会雑誌 2001; 125: S272-S284
- 2) 長谷公隆, 千野直一. 回復期のリハビリテーション. 日本医師会雑誌 2001; 125: S285-S298
- 3) 高岡徹, 伊藤利之. 維持期のリハビリテーション. 日本医師会雑誌 2001; 125: S299-S304
- 4) Langhorne P, Taylor G, Murray G, Dennis M, Anderson C, Bautz-Holter E, et al. Early supported discharge services for stroke patients: a meta-analysis of individual patients' data. Lancet 2005; 365: 501-506
- 5) Langhorne P, Holmqvist LW. Early supported discharge after stroke. J Rehabil Med 2007;

39 : 103-108

- 6) Thorsen AM, Holmqvist LW, de Pedro-Cuesta J, von Koch L. A randomized controlled trial of early supported discharge and continued rehabilitation at home after stroke : five-year follow-up of patient outcome. *Stroke* 2005 ; 36 : 297-302
- 7) Fjaertoft H, Indredavik B, Johnsen R, Lydersen S. Acute stroke unit care combined with early supported discharge. Long-term effects on quality of life. A randomized controlled trial. *Clin Rehabil* 2004 ; 18 : 580-586
- 8) Kuo YF, Ostir GV, Granger CV, Ottenbacher KJ. Examination of follow-up therapy in patients with stroke. *Am J Phys Med Rehabil* 2006 ; 85 : 192-200